



LPガスの性質・特徴

- 1 LPガスとは、Liquefied Petroleum Gas を略したものです。LPガスは、液体の状態で貯蔵・配送されますが、使用するときには気体となって消費されます。
- 2 LPガスには、酸性雨の原因となるSOX(硫黄酸化物)の排出がほとんどなく、地球温暖化の原因ともいわれているCO₂(二酸化炭素)の排出量も少ないクリーンなエネルギーです。
- 3 LPガスは無色無臭ですが、漏れたとき直ぐにわかるように、タマネギが腐ったような臭いを付けてあります。
- 4 LPガスは空気より重く、漏れた場合、低いところや物かげにたまる性質があります。
- 5 LPガスは空気中に 1.8%~9.5%混じった時、着火源があると燃えます。
- 6 LPガスは、液体から気体になると、体積が約250倍に増加します。
- 7 LPガスそのものには人体に有害な一酸化炭素(CO)は含まれていませんが、換気不足などで不完全燃焼を起こすと一酸化炭素(CO)を発生します。また、LPガスは炭化水素ですから、大量に吸い込むと、意識を失ったり、窒息したりすることもあります。